



「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられました。

新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅は平成23年5月31日までに「住宅用火災警報器」の設置が義務付けられることになりました。

住宅用火災警報器を設置しなければならない場所は、「寝室の用に供する居室、廊下、階段等、台所（努力義務）になります。

なお、悪質な訪問販売には、くれぐれも注意してください。

注意



購入の際は鑑定マークがあるか確認してください



「消さないで あなたの心の 注意の火」

11/9～11/15は秋季全国火災予防運動

11月9日から15日までの一週間、「消さないで あなたの心の 注意の火」をスローガンに、秋季全国火災予防運動が実施されます。これから空気が乾燥して、火災が発生しやすい時季を迎えます。運動が始まるこの機会に、みんなで火災予防に取り組みましょう。

住宅火災 いのちを守る 7つのポイント

寝たばこは絶対に止める。ストーブは、燃えやすいも

のから離れた位置で使用する。ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。

お年寄りや体の不自由な人を守るため、隣近所の協力体制をつくる。

お問い合わせ先 須賀川消防署 鏡石分署 ☎62 4511



木賊町長から最高齢者の記念品を受けとる清水さん（中央）

いつまでも元気で 敬老会で長寿を祝う

9月16日（土）午前9時30分から町鳥見山体育館で敬老会が開催され、歌や踊りに楽しい一日を過ごしました。この日招待されたのは、74歳以上のお年寄りで、1,367人でした。

式では、木賊町長が「長年、まちづくりにご協力いただいていることに深く感謝しています。いつまでもご健康で充実した日々を送ってください」とお祝いの言葉を述べた後、記念品の贈呈が行われました。

最高齢者に 記念品を贈呈

今年の最高齢者は、男性が笠石区の清水鐵次郎さん（98歳）、女性が鏡田区の並木タケさん（101歳）で、長寿を祝い木賊町長から記念品が贈られ

ました。また、来年満100歳を迎える成田区の会田美喜さんと、高久田区の諸橋タケさんに内閣総理大臣からの祝状と記念品が贈られました。このほか、80歳以上のおしどり夫婦、老人医療無受診者などに記念品が贈られました。式終了後行われた、アトラ

クションでは、鏡石保育所5歳児によるヨサコイ踊り、各老人クラブのみなさんによる舞踊、民謡歌手、鈴木政雄さんの歌や成田郷土文化保存会の子どもたちの盆太鼓の演奏などが行われました。参加者は、時の経つのも忘れ楽しい時間を過ごしました。

間もなく インフルエンザの季節です



外出後は手洗いとうがいを忘れずに！

インフルエンザは鼻水、せきなどの風邪症状だけでなく、高熱、頭痛、筋肉痛などを起こす全身感染症です。普通の風邪とは違い、気管支炎や肺炎などを合併し、重症化することが多いのも特徴です。

インフルエンザが流行すると、特に65歳以上の高齢者や慢性疾患患者で死亡率がふだんより高くなるという点でも普通のかぜとは異なります。

予防の基本は、流行前に予防接種を受けること、

普段からマスクを着用し、外出時には手洗いとうがいをを行うなど注意することが重要です。

予防接種は 10月16日から

予防接種法による高齢者のインフルエンザ予防接種は、10月16日～12月28日まで、町指定医療機関で実施します。個人負担金は1,000円です。

お問い合わせ先 町健康福祉課 ☎62 2115

町の高齢化率は 19.0%

国勢調査の結果から町の高齢化率を見てみると、昭和45年には6.3%でしたが、平成17年には約3倍の19.0%となっています。この数値は、福島県の平均からは3.7%低く、市町村別では、西郷村（17%）、郡山市（17.8%）に続いて3番目に低くなっています。

	町の総人口	町の65歳以上の人口	町の高齢化率	
				福島県
昭和45年	9,278	585	6.3%	8.0%
昭和50年	10,721	742	6.9%	9.2%
昭和55年	11,437	942	8.2%	10.5%
昭和60年	11,883	1,124	9.4%	11.9%
平成2年	12,130	1,393	11.4%	14.3%
平成7年	12,378	1,822	14.7%	17.4%
平成12年	12,743	2,169	17.0%	20.3%
平成17年	12,746	2,419	19.0%	22.7%

（国勢調査調べ）